

## 第 25 期第 3 回 IGU 分科会 議事要旨

日時： 2021 年 8 月 5 日（木） 10 時 30 分～12 時 20 分

場所： 遠隔会議

出席者（敬称略）： 矢野桂司，春山成子，阿部彩子，池口明子，石川徹，石川義孝，伊藤香織，岡橋秀典，小口高，奥村晃史，久保純子，近藤康久，篠田雅人，鈴木康弘，竹内裕一，氷見山幸夫，森田喬，山崎孝史，山下潤，山本佳世子，横山智，吉田道代，渡辺浩平  
欠席者（敬称略）： 井田仁康，近藤昭彦，中澤高志，中谷友樹

※ 委員 27 名中 23 名の出席により委員会は成立した。

配付資料：

- 資料 1 議事次第
- 資料 2 前回（第 2 回分科会）議事録
- 資料 3 意見交換会（6/11）メモ
- 資料 4 現状報告（IGU、JpGU、学術会議関係）
- 資料 5 Proposal for an IGU thematic conference on Islands in Relations: Conflicts, Sustainability, and Peace
- 資料 6 Implementation Plan for the 11th International Conference on Population Geographies (ICPG Tokyo 2022)
- 資料 7 第 3 回地名小委員会議事録案

議事等：

### 1. IGC2021 等現状報告について

- ・国際ユニオン交流会が 8 月 2 日，3 日に開催され，IGU 及び IGU 分科会に関しては氷見山委員（国際ユニオン役員）と鈴木委員長（国内対応分科会委員長）が出席したことが報告された。今後は，地名小委員会の活動などの成果も日本学術会議を通して発信していく必要があることが確認された。
- ・JpGU 大会で 6 月 3 日に日本学術会議の国際団体の活動を紹介するユニオンセッションが行われ，IGU については *Geography is the science for sustainability* を推進するという趣旨で鈴木委員長が発表したことが報告された。
- ・日本学術会議にカーボンニュートラルに関する連絡会議が設置されるのに伴い，IGU 分科会が参加することが報告された。関連して，近藤康久委員から，総合地球環境学研究所を事務局とする「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」が設立されたという情報提供があった。
- ・「日本学術会議の活動状況等に関する年次報告」の報告案について報告があり，内容に関する議論がなされた。外部評価との関連で重要なため，会議後に原案を回覧すること

とした。

- ・8月16日・17日に開催されるIGU総会での財務委員の候補者として、日本から山下委員を推薦したという報告があった。
- ・小口委員から、IGU総会の時間帯について、IGCでの鈴木委員長の発表セッションと重複がないか確認する必要があるとの指摘があった。

## 2. テーマ会議の準備状況および今期の活動方針

- ・山崎委員から、IGUテーマ会議「Islands in Relations: Conflicts, Sustainability, and Peace」を2023年3月開催予定で申請し、Commission on History of Geographyの海洋に関わるテーマ会議と協力・連携しながら進めていくとの報告があった。さらに、IGU分科会からの参加メンバーも増やしたいとの要請があった。併せて、鈴木委員長から、テーマ会議の開催が正式に決定したら学術会議を通じて広報をしていきたいとのコメントがあった。

## 3. 小委員会からの報告

- ・渡辺委員から、地名小委員会について、第2回会合では国連地名専門家委員会の報告や文化庁職員から地名の文化的価値についての話題提供があったこと、第3回会合では矢野委員から地域情報分科会に関する話題提供や連携について意見交換があったことが報告された。
- ・伊藤委員から、ICA小委員会について、第2回会合で国土地理院職員から国際活動やICAとの関係についての話題提供と意見交換や12月開催のICCについての確認が行われたことが報告された。

## 4. その他

- ・石川義孝委員から、2022年8月に青山学院大学において人口地理学に関する国際会議の開催が予定されているという情報提供があった。
- ・伊藤委員から、IGU GeoNightの一環として2021年8月、9月に開催予定されていた位置情報アプリを使ったジオイベントについて、COVID-19感染拡大の状況を鑑みて延期する旨の報告があった。

以上